

関内馬車道デンタルオフィス

関内駅から徒歩1分と便利なクリニック。院内はオークカラーを基調としたリラックスできる雰囲気。カウンセリングルームも患者が緊張しないよう対面ではなく横並びの形にしている。親知らず治療、補綴、歯周病治療、咬合治療、インプラント治療、審美歯科、矯正歯科など診療範囲は幅広く、金属アレルギーや睡眠時無呼吸症候群にも対応。顔や顎のバランス、全身の健康も考えた総合的な治療が特徴だ。

横浜市中区尾上町 5-68 馬車道 RA ビル 2F
☎ 045-299-0488



LINK P000、000

ドクターに聞きました

親知らずの抜歯や重症の歯周病治療、インプラント手術など、歯科治療の中でも大がかりな処置には特に不安やストレスを伴うものです。そこで最近、半分眠ったような状態になる「静脈内鎮静法」を治療に取り入れるクリニックが増加。器具を口に入れた際の嘔吐感を防ぐ目的でも導入可能だそうです。では実際にどうやって治療を進めるのでしょうか。教えてもらいました。

STEP 5



リカバリー室で休憩

治療後、4時間ほどリカバリー室で休む。体調に問題はないかをスタッフがこまめに確認しに来る。同院では午前11時に受診し、11時30分から麻酔をかけて治療を行い、13時頃にすべて終了。夕方には帰宅するケースが多いそうだ。費用は同院では5万円。

STEP 4



歯科治療スタート

麻酔が効いてきたことが確認されたら、生体情報モニターで呼吸や脈拍のモニタリングを開始。治療が始められる。その間は半分眠ったようなうとうとした状態で、時間が短く感じられるそうだ。



STEP 2



事前検査

静脈内鎮静法が適応されるかどうかを調べるため、一般的な診査・診断に加えて血液検査を実施。全身疾患や感染症にかかっていないことを確認。異常が見つかったら治療を中止することもあるそうだ。

START

実際の流れを紹介

STEP 1



問診・カウンセリング

歯科治療を受けることが決まったら、静脈内鎮静法を利用したいという希望を伝える。治療内容に加えて、麻酔についても詳しい説明がなされるので、わからないことや不安なことがあれば質問。

STEP 3



点滴による麻酔の投与開始

治療開始の30分前に受診し、個室で安定剤を服用する。治療前の問診で当日の体調を確認してから、問題なければ点滴を開始。同院では、噴霧式麻酔をかけてから麻酔用点滴の針を刺すので、麻酔に伴う痛みもほとんど感じないという。

レポートを終えて

眠ったような状態で治療を受けられるのは、とても画期的ですね。歯科治療を苦手としている人でも、これなら受けられるという声が聞こえてきそうです。同院では、麻酔用点滴の針を刺す痛みにも配慮して、注射の前に噴霧麻酔を施しているそうです。患者の痛みや不安に徹底的に寄り添う姿勢が、頼もしく感じられました。

頼れるドクター 確認用原稿

ドクターからのアドバイス

当院は、今まで歯科治療を諦めていた方よりどころになりたいと考え、痛みや精神的な負担を軽減するような治療を心がけています。特に、静脈内鎮静法を用いて安心して治療を受けたいという方は多く、遠方からも来られます。治療への恐怖心や嘔吐反射が強くて治療を受けられない方や、親知らずの4本同時抜歯など、1日で治療を終らせたいという方はご相談いただきたいですね。

前日から当日にかけて、飲食や飲酒について制限があります。当院では、飲食は治療4時間前、アルコール類の摂取は12時間前まで、いずれもごく少量とお伝えしています。また、指先にモニター器具を装着しますので、マニキュアは取っておく必要があります。化粧やまつげのエクステンションは取れることがあるため、控えてください。髪の毛の長い方はヘアゴムで束ね、コンタクトレンズや眼鏡、アクセサリー類は外しておきましょう。

Q 治療を受ける前に準備することや注意点はありますか？
A 保するため、事前の血液検査で全身状態に問題がないことを確認。治療中は呼吸や脈拍、血圧、心電図、さらに脳波まで測定して全身に問題がないかを見ながら進めます。術前から術後まで歯科麻酔を熟知したスタッフがサポートすることも安全性を高めます。

Q 麻酔の安全性が気になる場所です。
A 回復まで数日の入院が必要な全身麻酔に比べ、静脈内鎮静法は日帰り手術も可能なほど体への負担が軽い方法です。さらに安全を確認

Q 静脈内鎮静法はどのような人が取り入れると良いでしょうか？
A 鎮静剤や鎮痛剤を点滴投与することで、痛みや精神的ストレスをほとんど感じずに治療を終えることができます。過去の治療がトラウマになって歯科医院が怖いと感じる歯科恐怖症の方、抑圧された環境下で発作が生じるパニック障害の方、嘔吐反射が極度に強い方など、精神的な理由で歯科治療が苦手な方に向いています。また、生体情報モニターで全身状態をチェックしながら治療を行いますので、持病のある方や血圧が高い方の歯科治療にも適しています。

検査 & 治療にまつわる Q & A

答えてくれたのはこの方!



関内馬車道デンタルオフィス
河合 毅師 院長

うとうとした状態で受けられて、恐怖心や嘔吐反射が和らぐ

静脈内鎮静法を用いた 歯科治療